

令和3年度 小金井市立南小学校 授業改善推進プラン（5年生）

【児童の実態】

- ・意欲的で児童間の仲がよく、協力して学習に取り組むことができる。
- ・自分の考えをもち、活用したり発信したりする力を育てたい。

	児童の実態（1学期）	育てたい力（2学期以降）	授業改善の具体策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○新出漢字・既習漢字等言語事項の定着に差がある。 ○自分の考えを明確にして伝え合う力表現する力、文章を構成する力に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的言語事項の定着。 ○話し手の意図をつかみながら聞く力。 ○文章の内容を的確に押さえて要旨を捉える力。 ○自分の考えが伝わるように、話したり文章に表現したりする力。 	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字の定着を図るため、モジュールの時間などを活用し、漢字学習の時間を確保する。 ○課題を解決するための方法を提示する。 ○学習を振り返る場を設定し、日常的に自分の考えを表現する機会を増やす。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の国土の地形や気候、産業の特色について興味をもち、意欲的に調べたり、考えをノートに書いたりすることができた。 ○資料を読み取り、必要な事項を適切に活用する力や、根拠をもって予想する力、自分の考えを表現する力に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地図や統計資料を、目的に応じて的確に読み取り、効果的に活用する力。 ○学習問題に対し、資料や体験などの根拠をもとに予想する力。 ○学習問題や本時の学習内容に対して自分の考えをもったり、本時の学び方について表現したりする力。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料や具体物、ICT機器を活用し、視覚的に学習課題を把握できるようにする。 ○資料に示されている事柄の全体から細部までの傾向を捉えたり、その背景を予想したりする学習を設定する。 ○自分の考えをもつ時間、考えを共有する時間を十分に確保する。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○比例では、表を用いてまとめることができ、表から問題の関係式を作ることができた。 ○小数のかけ算、小数のわり算では、既習の整数のかけ算、わり算の定着に差が見られ、特にわり算に苦手意識をもっている児童が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○既習事項を生かして問題を解決することができ、筋道を立てて説明することができる力。 ○基本的な四則計算ができる力。 ○整数・小数・分数の共通点を見付け、学習に生かしていくことができる力。 	<ul style="list-style-type: none"> ○既習事項の確認を丁寧に行い、学習がつながっていることを意識させる。 ○既習の計算を授業の導入で行い、計算力を高める。 ○説明の順序や説明の仕方を繰り返し指導する。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○インゲン豆やメダカなど生物への関心があり意欲的に飼育・観察を続けることができる。 ○実験の結果をもとに考察することが苦手な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○結果を正確に捉える力。 ○予想や仮説を基に、解決の方法を考える力。 ○問題に対する結論を導き出せる力。 	<ul style="list-style-type: none"> ○適宜動画資料を取り入れ、実験の結果を捉えやすくする。 ○グループで考察する時間を設け、一人一人が考えをより深められるようにする。 ○話型を取り入れ、児童が自分の考えを書き出しやすく、伝えやすくなるよう指導する。

音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的な技能や理解に個人差が大きい。 ○楽しく音楽と関わろうとする態度を養いながら音楽的な内容に迫ることが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽の諸要素や音楽の仕組みに着目して、それらが生み出す曲の雰囲気や情景、味わいなどを感じ取って、表現を工夫して演奏したり鑑賞したりする力。 	<ul style="list-style-type: none"> ○リズム→リズム譜→階名唱→技能→読譜→理解とスパイラルに展開し読譜力を高める。 ○新たに学ぶ単音、短いフレーズ、大切な箇所を全員リレー形式、スモールステップで行い定着させる。 ○振り返りシートを拡大楽譜等活用し、言語化、伝え合うことや共有する学習に重点を置く。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に制作に取り組み、素直な気持ち表現できる。しかし、自身の表現に自信がなく表しきれない児童も見受けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○新しく触れる道具や材料、既習の道具や材料を使い、思いどおりの表現になるように、工夫できる力。 ○友達の作品のよさや面白さについて気づき、表現する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ○道具や材料の特徴に気付けるように、安全に配慮しながら体験し創作する。 ○毎回の題材ごとに鑑賞を行い、言葉にして発表を行う。
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭科学習への関心が高い。 ○ガスコンロを使ったり、お茶を入れたりすることに興味をもった。 ○針と糸を使う経験のある児童が少なかったが、意欲的に制作に取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家族や家庭、衣食住、消費や環境など、日常生活に必要な基礎的な力。 ○家族の一員ということを実感し、自らが生活をよりよくしようと工夫する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ○手縫い、ミシン縫い、身の回りの整理整頓、情報や目的に応じた金銭の使い方等の実践的な学びを取り入れる機会を設定する。 ○学習したことを自分の生活で活用できるように計画し、実行できるようにする。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○運動が楽しい、楽しそうと意欲的に取り組む様子が見られた。 ○ゲームなどでは、チームで協力して作戦などを考え学習に取り組む姿が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○やってみたいという気持ちを大切にしつつお互いの動きを見合いながらコツをつかもうとする力 ○練習を工夫したり、友達と教え合ったりして学習を進める力。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちで動画を撮ってよいところをアドバイスできるようにする。 ○目標が分かり、学習技能ポイントに沿った学習を行うことにより、教え合ったり、振り返ったりできるようにする。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ALTとの交流やゲームを通して、単語を発音したり定型文で自分のことを発表したりすることができた。 ○アルファベットや単語の表し方の習得に差がある。 ○フォニックス（綴り字と発音の規則性）の理解に課題があるため、単語の理解が進まない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○アルファベットの太文字・小文字を正確に書く力。 ○単元毎に身に付ける表現やフレーズを理解し、友達との会話練習の中で使うことができる力。 ○フォニックス（綴り字と発音の規則性）に慣れ親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい表し方を知る→発音する→ゲームで力を高めるを繰り返す。 ○短い文章を使って、やり取りを行い文章表現を身に付ける。 ○ALTとの単語の練習を繰り返す。その際に英単語の綴りにも注目させる。
特別の教科 道徳	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に資料を読み、道徳的価値に迫ろうとする児童が多い。 ○題材となった道徳的価値について、自己に照らし合わせて振り返る力に個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○題材となった道徳的価値について、「自分はどうか」と自分に問いかけ、自己理解を深めていく。 ○自己を振り返り、今までやこれからの生き方を考える力。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己理解を深めていくために児童たちの心に残る良い教材を選びながらねらいを具体的に設定する。 ○自己の在り方や生き方について、考え合う時間を設定する。